

なみき通信



令和7年度 桜並木学園つくば市立並木小学校 学校だより 15 2月号 2月1日

「できた！」を増やすために～成果を確かめ、次の手立てへ～

子どもたちは、冷たい風の中にも少しずつ春の気配を感じながら、休み時間には運動場を走り回ったり、縄跳びに挑戦したりと、元気いっぱいに過ごしています。学習でも行事でも、「できた！」「わかった！」という瞬間の表情が、私たち教職員にとって何よりの喜びです。



さて本校では今、来年度の教育活動に向けて、今年度の取組を丁寧に振り返る時期を迎えています。その振り返りでは、日々の授業での子どもたちの様子や作品、学級の対話や振り返りといった“学びの過程”を大切にしながら、あわせて1月に実施した学力診断テストの結果、学校評価アンケートの数値、つくば市のアンケートなど、学年・教科・項目ごとに整理し、変化や傾向を細かく分析し、良い点や課題を洗い出しています。良い点を学校の特色としてさらに伸ばしながら、課題点を改善する手立てを教職員で話し合っています。

点数や数値は「どの力が伸びているのか」「どこでつまずきやすいのか」「学年や学級で共通する課題は何か」「保護者の皆さまは学校のどこを評価し、どこに改善を望んでいるのか」を、落ち着いて見つめ直すための大切な手がかりです。例えば、学力診断テストで特定の領域に課題が見られれば、授業の導入や説明の工夫、思考を深める対話の入れ方、振り返りの質、家庭学習とのつなぎ方など、具体的な改善策を学年団と全体で共有し、次の授業に生かしていく必要があります。

このように、教師の感覚だけに頼るのではなく、確かな根拠をもとに全教職員で話し合い、「良さはさらに伸ばす」「課題は具体策で改善する」ことを、学校全体の共通理解として進めています。来年度に向けては「授業づくり」や「学級づくり」の一つ一つをよりいっそう“子どもが自分の成長を実感できる形”に整えていきたいと考えています。

子どもたちが安心して挑戦し、学びを深められる学校をつくっていくために、教職員一同、引き続き力を尽くしてまいります。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 大村 千博

1年生 生活科で凧揚げをしました



青空がどこまでも澄みわたる日、1年生の生活科で「凧揚げ」を行いました。自分だけの絵が描かれたオリジナルの凧をもって、運動場に子どもたちが集まりました。伸び伸びと描かれた色や形には、一人一人の思いが詰まっていました。走り出すと、凧は風をつかんでふわりと浮かび、ぐんぐん空へ舞い上がり、子どもたちは笑顔いっぱいです。「上がった！」と喜ぶ声をあげていました。中には、凧揚げが生まれて初めてという子もいました。最初は戸惑いながらも、凧が上がった瞬間、目を輝かせて「できた！」と喜ぶ姿がとても印象的でした。運動場のあちこちを元気に走り回るので、凧の糸が絡んでしまうこともあります。それでも「こっち持ってて！」「ゆっくりほどこうね。」と声を掛け合い、友達同士で助け合いながら解決していました。小さな失敗を繰り返しながらも、うまくいくように工夫して、そして風に向かって走り出す姿は小さな挑戦者のようにでした。



ちょこっとサイエンス広場 来年度の秋からの開催予定です

令和7年度の「ちょこっとサイエンス広場」も、いよいよ1月30日で一区切りとなりました。いろいろな科学おもちゃで遊ぶ中で、「あれ？」「はて？」という気づきから、自分の問い合わせをもち、遊びながら科学の法則に出会ってほしいという願いで続けてきました。1月19日から23日までの5日間には、期間限定のクイズにも挑戦してもらいました。中休み、昼休みには、連日たくさんの子どもたちが集まり、遊びながら答えを探す姿が見られました。子どもたちの「全問正解したい！」という意欲と粘り強さに驚かされました。そして、わずか1週間で108人がクイズ全問正解となりました。遊びを通して生まれた「もっと知りたい！」という気持ちが、子どもたちの科学への興味・関心をさらに大きくしていくことを期待しています。なお、来年度は

秋からの開催を予定しています。どうぞ楽しみにしていてください。

放課後子ども教室 キッズダンスを楽しく踊りました

つくば市の放課後子供教室推進事業の一環として、21日に1年生を対象とした「放課後キッズダンス教室」を実施しました。今年度2回目で、秋の第1回「光の万華鏡教室」に続く活動です。



講師として、黒澤未栄さんをお招きました。4名のインストラクターが前に立ち、さまざまな音楽に合わせて、基本のステップや手足の使い方を丁寧に教えてくださいました。さらに、つくば市ボランティアの方も10名以上いらっしゃって、子どもたちはいろいろなサポートを受けることができました。忍者・泥棒・モデルなど、イメージをふくらませる動きにも挑戦し、思わず笑ってしまう場面もありました。体がほぐれてきたところで BTS の曲に合わせ、パートごとに振り付けを練習し、最後は1曲を通して踊れるようになりました。子どもたちはノリノリで、踊り終えると満面の笑みで喜んでいました。音に乗って体で表現する楽しさと放課後に安心して集まる場の大切さを感じた時間でした。

3年生 「書初め」に祈りを込めて

書写の学習の中で「書初め」に取り組みました。書初めは、平安時代から続くとされる日本の風習で、新しい年のはじまりに、心を整え、願いや決意を文字に託す大切な時間です。教室には、いつもより少し張りつめた空気が広がり、子どもたちは自然と背筋を伸ばして筆を握っていました。一画目を入れる前に深呼吸をし、墨の香りを感じながら、半紙に向かう姿はとても真剣でした。書いて、確かめながら、自分の思いを形にしようとする姿からは、「うまく書く」こと以上に、「丁寧に向き合う」ことの大切さが伝わってきました。完成した作品には、一人一人の思いがのびやかに表っていました。



6年生 「算数おにいさんによる算数授業



「理系脳をぐ~んと伸ばすたのしすぎる算数」の著者である吉田真也さんが、22日に来校し、6年生対象に「算数が好きになる出前授業」をやっていただきました。最初に、2個のサイコロを使い、すぐろくで遊びながら、出やすい数があるということに気づかせていました。次に、自分で考えながら、すぐろく用紙に自分なりのルールを決め、気づいたことを生かして、数字を入れて、自分や友達と遊べるすぐろくをつくっていきました。サイコロを振りながら、出やすい数があるということを気付き、中学校で学習する確率の概念につなげていく授業でした。2つのサイコロでは「7」が一番出やすいことに足し算から気づき、すぐろくをつくっていた6年生がいて、感心しました。

算数・数学の面白さに気づくとともに、デジタル・AI 時代に生き抜く子どもたちだからこそ、体験から得られる「実感」を大切に、より深く考える力を持つてほしいと考えています。

桜並木学園 CS 保護者ボランティア・地域の方々とともに 「遊びの広場」

21日、ロング昼休みを活用して「遊びの広場」を行いました。保護者や地域の皆様にお手伝いいただき、こま回し、おはじき、けん玉など、子どもたちは夢中で昔ながらの遊びを体験しました。友だちと教え合ったり、できた瞬間に思わず歓声が上がったりと、会議室に笑顔が広がりました。今回はさらに、参加してくださった地域の方が鉄道模型をご持参くださいました。レールの上を滑るように走る車両を、子どもたちは食い入るように見つめ、目を輝かせながら「次は自分が動かしたい！」と興味津々でした。



学校評価アンケートや教職員全員で行った SWOT 分析でも、並木小学校の強みとして「保護者・地域の方々が学校教育活動に大変協力的でありがたい」という声が挙がっています。朝の読み聞かせでも、ボランティアの皆様のおかげで子どもたちは絵本の世界に引き込まれ、笑ったり驚いたり、ときに胸を打たれたりする“朝の宝石のような時間”を過ごしています。日々の温かな支えに心より感謝申し上げます。

2月の主な予定

- 3日(火) せいいけつ調べ 4日(水) SC 来校・邦楽コンサート(5・6年)・6年出前授業
- 5日(木) クラブ活動・3年クラブ見学 10日(火) 朝読み聞かせ 4~6年
- 11日(水) 建国記念日 12日(木) 朝読み聞かせ 1~3年 13日(金) SC 来校
- 18日(水) SC 来校・昼読み聞かせ 19日(木) クラブ委員会反省・5年命の授業・CS 推進委員会
- 20日(金) SC 来校・授業参観・懇談会・6年卒業を祝う会・放課後子ども教室
- 23日(月) 天皇誕生日 24日(火) 期末短縮日課・2年国際理解教室 25日(水) 期末短縮日課
- 26日(木) 期末短縮日課 27日(金) SC 来校 28日(土) PTA 運営委員会

